

製品安全データシート

【製造者情報】

会社名：笠原理化工業株式会社
住所：〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目133番8
電話番号：0480-38-9151
FAX番号：0480-38-9157
整理番号：120525
作成・改訂日：令和1年10月16日

【製品名】 フッ素イオン測定用 ISAB 溶液

【危険有害性の要約】

GHS 分類： 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：区分2A(H319)
呼吸器感作性：区分1(H334)

GHS ラベル要素：



危険

危険有害性情報：H319—強い眼刺激をおこす
H334—吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難をおこすおそれ

注意書き：

[安全対策]

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。

[応急措置]

飲み込んだ場合：多量の水を与える。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
眼に入った場合：直ちに流水で十分に洗眼する。
眼の刺激が続く場合は医師の治療を受けること。
吸入し、呼吸が困難な場合、患者を新鮮な空気のある場所に避難させ、呼吸が楽な姿勢で休息をさせること。
呼吸器系の症状がある場合、毒劇物センターもしくは医師に連絡してください。
皮膚(または毛)に付着した場合：付着部を多量の水で洗い流す。

[保管]

非該当

[廃棄]

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

【組成、成分情報】

化学名：	酢酸	塩化ナトリウム	クエン酸水素2アンモニウム	水酸化ナトリウム (PH調整剤)	水
濃度又は濃度範囲(含有量)：	5～6%	5～6%	0.1～0.2%	2.5～3.5%	85～88%
化学特性(化学式)：	CH ₃ COOH	NaCl	(NH ₄) ₂ HC ₆ H ₅ O ₇	NaOH	H ₂ O
官報公示整理番号(化審法・安衛法)：	2-688	1-236	2-(4)-139	1-410	N/A
CAS No.：	64-19-7	7647-14-5	3012-65-5	1310-73-2	7732-18-5

【応急措置】

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに大量の水で洗浄し、医師の治療を受けること。皮膚の炎症やアレルギー性反応が起きた場合には、医師の診察を受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護

個人用保護具を着用すること。

【火災時の措置】

消火剤

現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

特有の消火方法

利用可能な情報はない

火災時の特有危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

消火を行なう者の保護

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者の以外立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。残りは、大量の水で洗い流す。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

【取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策： 必要に応じて、保護メガネ、ゴム手袋等を着用する。

注意事項： 皮膚などに付かないよう注意する。

安全取扱い注意事項：換気の良い場所で使用する。

保管

適切な保管条件： 容器は遮光し、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

技術的対策： 涼しい所/換気の良い場所で保管すること。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料：ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン

【暴露防止及び保護措置】

設備対策： 全体、又は局所排気、洗眼、手洗い、安全シャワーの設備を設置する。

管理濃度 作業環境評価基準：設定されていない

許容濃度

OSHA PEL： 設定されていない

ACGIH TLV(s)： 設定されていない

日本産業衛生学会：設定されていない

保護具

呼吸器の保護具： 必要に応じて着用する。

手の保護具： 必要に応じて着用する。

目の保護具： 必要に応じて着用する。

皮膚及び身体の保護具：必要に応じて着用する。

【物理的及び化学的性質】

形状： 液体(水溶液)

色： 無色透明

臭い： 刺激臭

pH： 5～6

融点： データなし

沸点(初留点)： データなし

引火点： データなし

自然発火温度： データなし

爆発範囲(上限・下限) : データなし
蒸気圧 : データなし
密度 : 約 1mg/cm³
溶解度
溶媒に対する溶解性 : 水と自由に混合
n-オクタノール／水分配係数 log Po/w : データなし

【安定性及び反応性】

安定性 : 通常の使用において安定である。
反応可能性 : アルカリ物質と接触すると反応する。
避けるべき条件 : 日光、熱
危険有害な分解生成物 : 特になし

【有害性情報】

急性毒性 : 製品としてはデータなし。
ラット 経口 LD50=3530mg/kg(酢酸)
皮膚腐食性・刺激性 : データ不足のため分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データ不足のため分類できない
刺激性
呼吸器感作性または
皮膚感作性 : データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない
発がん性 : データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性、単回暴露 : データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性、反復暴露 : データ不足のため分類できない
吸引性呼吸器有害性 : データ不足のため分類できない

【環境影響情報】

生態毒性
魚毒性 : データなし
残留性／分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし

【廃棄上の注意】

残余廃棄物 : 徐々にアルカリ溶液を加え中性にした後、多量の水と下水へ流す。
または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

【輸送上の注意】

ADR/RID(陸上) 規制されていない。

国連番号

品名

国連分類

副次危険性

ラベル

容器等級

IMDG(海上) 規制されていない。

国連番号

品名

国連分類

副次危険性

容器等級

海洋汚染物質

IATA(航空) 規制されていない。

国連番号

品名

国連分類

副次危険性

容器等級

海洋汚染物質

【適用法令】

国際インベントリー

EINECS/ELINCS -

TSCA -

国内法規

消防法

毒物及び劇物取締法 非該当

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

化審法 非該当

危険物船舶運送及び貯蔵規則 非該当

航空法 非該当

海洋汚染防止法 施行令別表第1 有害液体物質 Z類物質

PRTR法 非該当

【引用文献】

- 1) THE MERCK INDEX 11ED
- 2) 化学大辞典(共立出版社)

- 3) ザックス有害物質データブック (丸善出版社)
 - 4) 産業中毒便覧 増補版 (医師薬出版)
 - 5) 公害と毒・危険物 無機編 (三共出版社)
 - 6) 化学物質の危険・有害便覧 (中央労働災害防止協会)
 - 7) THE SIGMA-ALDRICH LIBRARY OF CHEMICAL SAFETY DATA ED. 1
 - 8) J I Sハンドブック試薬
 - 9) 日本医薬品集 (薬業時報社)
 - 10) 13398の化学商品 (日本規格協会)
 - 11) 化学便覧 応用編 (丸善出版社)
 - 12) 化学辞典 (東京化学同人)
 - 13) MSDSの作成指針 (日本化学工業協会)
-

【コメント】

- ・この製品安全データシートの記載内容は、各種の文献や当社の調査に基づいて作成しておりますが、必ずしもすべての安全性を保証するものではありません。
- ・取り扱いには十分注意し、安全な使用をして頂きますようお願い致します。
- ・記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
- ・また、特殊条件化で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施して下さい。